

## H30春に開催の「市長と語る会」での提言等と回答要旨について

### 山加積地区

提言等の項目	H30春に開催の「市長と語る会」	
	皆様からいただいた主な提言等	その際の回答要旨
①有害鳥獣対策(1)	農作物等に対するイノシシの被害が大きい。町内会だけではなく、地区全体、あるいは隣接する東加積地区、上市町などと連携して対策していく必要があるのではないかと。	イノシシの被害対策について、本江町内会においては、耐雪フェンスを延べ1.5km及び電気柵を延べ4kmを、納品があり次第すぐに設置する予定です。上市町との境界での対策については、現在上市町と協議中です。
②水道管(1)	水道管について、漏水が多く発生しており、本管が取り換えの時期になっているのではないかと。対応をお願いしたい。	漏水については、情報があり次第、対応しています。古い水道管についても、随時更新しています。ご提言の箇所については、すぐに調査に入ります。
③水道管(2)	市内の水道管は順次交換しているとのことだが、本江地内の水道管は敷設から40年以上が経過している。どのくらいの目安で、水道管を交換しているのか。	水道管は、古いものでは設置から60年ほど経過しているものがあり、古いものから順番に交換しています。また、新しい水道管は、以前のものと比べ、耐久性に優れたものとなっています。
④道路拡幅	本江地内の県道黒川滑川線は、道幅が狭く、歩行者や自転車の通行が危険であるが、道路脇に川や住宅があるため、拡幅ができない。代わりに、武内プレスから小森方面へ向かう農道を県道のバイパスとして整備することはできないか。	以前よりご提言いただいていた、県道黒川滑川線のバイパス案については、平成29年度に再度県へ要望したところです。農道を県道のバイパスにするためには、交通量等の調査が必要となるため、そういった情報を整理しつつ、継続して要望していきたいと思っております。
⑤憩いの広場	市役所正面玄関前の空き地に、噴水やベンチを設置するなどして、男女の出会いの場となるような、憩いの広場を設けてはどうか。また、現在同空き地にあるコンクリートの水溜はいつ頃、どういう目的で設置したものなのか。	市役所正面玄関前に設置してあるコンクリートの水溜は、市役所建設と同時期に設置された噴水であり、昔は鯉などもいましたが、鳥に食べられてしまったからは、水を入れていない状態です。現在、市役所の駐車場が不足している状態ですので、駐車場としての活用も検討させていただきたいと思っております。
⑥人口減少	山加積地区は若い世帯が少なく、将来的に町内として存続していけるのか不安である。市では、山間部の人口減少対策をどのように考えているのか。	市では、民間宅地業者に特定の場所への宅地開発の斡旋を行っていません。民間業者は、そこに人が来るか見込みを立てて開発しているものであり、難しい問題ですが、市でも対策を検討する必要があると考えています。

## H30春に開催の「市長と語る会」での提言等と回答要旨について

### 山加積地区

提言等の項目	H30春に開催の「市長と語る会」	
	皆様からいただいた主な提言等	その際の回答要旨
⑦財政力指数	配布資料に、「財政力指数が1.0に近いほど、財源に余裕がある自治体である」との記載があるが、県内で、財政力指数が1.0の自治体は存在するのか。	県内では、財政力指数が1.0を超える自治体はありません。1番高い富山市で0.82となっており、滑川市は3番目に高い数値となっています。
⑧有害鳥獣対策(2)	金網や電気柵を張ってもイノシシの入ってくる場所が存在している。東福寺野においては、イノシシの入ってくる道路が4か所あるので、夜間だけでも電気柵で完全に道路を遮断してほしい。	今年度、下野の市道に害獣対策用のグレーチングを設置して、イノシシが道路を横断できるかどうかの実験を行う予定です。この実験が成功し、グレーチングの上をイノシシが横断できないということが証明されれば、県道の入り口にも、同様のグレーチングを設置するよう県に要望したいと考えています。
⑨子ども図書館	子ども図書館や、同館内の学習室の利用状況について教えてください。	子ども図書館の平成29年度の来館者数は、前年度より約6千人増加し、36,166人となっています。乳幼児への手遊びの実施のほか、保護者から子育ての相談を受けています。また、子ども図書館の学習室は、近所の寺家小学校の子どもたちの利用が多くなっています。
⑩食べ物の大切さ	やなぎはら保育園の園児が、食糧難のアフリカのマリ共和国へ米を送るために田植えをしたという新聞記事を見た。子どもたちに食べ物の大切さを教えるということはとても良いことだと思う。	今後も、この事業については、続けてもらいたいと思っています。

## H30春に開催の「市長と語る会」での提言等と回答要旨について

### 山加積地区

提言等の項目	H30春に開催の「市長と語る会」	
	皆様からいただいた主な提言等	その際の回答要旨
⑪富山湾岸クルージング	富山湾岸クルージングの運航が始まり、約1か月が経過しているが、出航率はどのくらいか。	今シーズンの富山湾岸クルージングは、4月28日から11月30日までの運航を予定しています。現在の状況として、5月25日までの間に、天候の悪い日と定休日(火曜日)を除いた19日間出航し、約900人に乗船いただきました。遊覧船は、天候を見て、安全第一に運航しています。ほたるいか海上観光とは異なり、よほど大荒れの天気でなければ出航できるものと思われませんが、船長が運航当日に、最終判断をしています。
⑫青雲閣	青雲閣がリニューアルすると聞いたが、どのような計画になっているのか。	青雲閣のリニューアルは、地元の木材を利用したいと考えており、林道整備で発生した木材や、辺地債を活用しながら、今後実施していきたいと考えています。
⑬防災無線	田林地区内には、防災行政無線のスピーカーが設置されておらず、隣接する本江や安田に設置されているスピーカーからの放送を頼りにせざるを得ない状態であるため、地区内にスピーカーを設置してほしい。	防災行政無線のデジタル化に向けて、現在の施設を更新する予定としています。ご提言については、更新の際に反映させていただきたいと思えます。
⑭災害情報	市内の震度、降雨量、河川の水位はどこで計測しているのか。また、それらの管理はどこが行っているのか。	地震計については、市役所の横に設置しており、県が管理・計測しています。風速・風向・降雨量・積雪量は、滑川消防署が消防署の屋上で管理・計測しています。土砂災害の危険がある地域については、气象台と県が情報を共有しており、降雨量については県が室山観測所と中川観測所の2か所の観測所を設置しています。气象台と県が、土砂災害の危険があると判断されれば、滑川市にも情報が届き、市からお知らせする仕組みになっています。

## H30春に開催の「市長と語る会」での提言等と回答要旨について

### 山加積地区

提言等の項目	H30春に開催の「市長と語る会」	
	皆様からいただいた主な提言等	その際の回答要旨
⑮コミュニティバス(1)	コミュニティバスの定期券や、冬期間の通学時に使用できるような月単位の利用券はあるのか。なければ実施してほしい。	コミュニティバスについては、1回の乗車ごとに100円の乗車料をいただき運行しています。昨年、利用者の利便性向上のためにアンケート調査を実施したところですが、その中でも回数券や定期券の導入についての要望があったところです。アンケート調査結果に基づき、来年度以降、回数券の導入を検討しています。定期券の導入についても、今後検討したいと思います。
⑯コミュニティバス(2)	コミュニティバスは乗客の有無にかかわらず走行しており、無駄が多いと感じている。乗りたい人は電話をしてバスを呼ぶなど、無駄を削減することはできないのか。	ご提言について、全国的には利用者の任意のルートでの運行や、タクシーを公共交通として活用している自治体があります。昨年度実施しましたアンケートの中にも、効率的なコミュニティバス運行の実施を検討すべきとのご意見があったところです。今後、先進事例を参考に、住民の皆様にとって利便性の高い方法を検討していきたいと思います。